

盛岡市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>1 スポーツ推進施策の充実強化について</p> <p>いわてグルージャ盛岡は、県内全33市町村をホームタウンとし、今シーズンからチーム名を変え、県民の心身の健全な発達と社会の発展に寄与するためサッカーの普及に努め、スポーツを通じ県民が幸せになれる環境を作り上げることを目指し活動しております。</p> <p>Jリーグは、スタジアムの整備要件など5つのクラブライセンス審査基準を設け、シーズンごとにライセンスの交付を行っておりますが、岩手県を本拠地とし活動しているサッカーJ3の当該チームに関する新たな対応が求められております。</p> <p>具体的には、スタジアムの整備要件が変更され、照明設備を2022年6月までに整備しなければその後のライセンスの交付を受けられなくなるというものです。また、J2、J1へ昇格するためには、それぞれ観客席を1万人、1万5千人とすることや大型映像装置の整備等がスタジアム要件として求められております。</p> <p>岩手県においては、平成30年度に2019～2023年度の5年を計画期間とする「岩手県スポーツ推進計画」を策定し、「地域を活性化させるスポーツの推進」を施策の柱の一つとし、「スポーツコミッションやトップ・プロスポーツチームと連携した地域活性化の推進」を施策に掲げ、地域の活力につながるスポーツの推進として、トップ・プロスポーツチームと連携した地域活性化の推進に取り組まれております。</p> <p>本県においてプロサッカーチームは、いわてグルージャ盛岡が活動するのみであり、地域の活性化に大きく貢献ができるスポーツ施策のさらなる推進を図るため、岩手県全体をホームタウンとし、県民を挙げて応援している当該チームのスタジアム整備について次のとおり要望いたします。</p> <p>1 Jリーグライセンス審査基準の変更に伴うスタジアム整備について、全県的な視点で支援をいただきたいこと。</p>	<p>盛岡市が行う盛岡南公園球技場（いわぎんスタジアム）における照明設備の整備に対して、県では、その経費の一部を補助し、整備事業を支援します。（A）</p>	<p>盛岡広域振興局</p>	<p>経営企画部</p>	<p>A：1</p>

盛岡市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>2 水道施設耐震化等推進事業費補助金の確保について</p> <p>水道は市民生活や産業活動を支える極めて重要な基盤施設であり、大規模地震や水源汚染等による災害が発生した場合においても、水道事業者には飲料水等生活に必要な水を供給することが強く求められています。</p> <p>また、高度経済成長期前後に整備された水道施設は老朽化の進行が著しく、計画的な施設更新が必要となっています。こうしたことから、当市においては、老朽施設の更新、基幹病院や要援護者収容施設までの配水管の耐震化を重要給水施設配水管整備事業として重点的に進めております。その財源については、「水道施設耐震化等推進事業費補助金（交付金）」を活用することにより、施設整備を推進しているところですが、必要な財源確保は大きな課題となっています。</p> <p>一方で、「水道施設耐震化等推進事業費補助金（交付金）」による老朽管更新事業においては、配水管更新に伴う給水管の繋ぎ替えや消火栓設置、硬質ポリ塩化ビニル管は補助対象外となっている状況です。</p> <p>つきましては、その補助制度の特性を存分に発揮し、滞りなく事業を推進するため、生活基盤施設耐震化等交付金の予算確保と補助対象工種の拡大について、国に働きかけていただくとともに、水道施設耐震化等推進事業費補助金の予算確保と要望額のおり補助を要望いたします。</p>	<p>県としても、重要なライフラインである水道の普及、施設の耐震化、更新等を計画的に行っていくためには、国による支援が必要であると認識しており、必要な予算の確保及び補助対象工種の拡充に向け、これまで機会を捉えて国への要望活動を実施してきたところです。</p> <p>今年度は、6月に県単独で政府予算要望を実施し、8月及び12月には他の都道府県と連携して、国に対し財政的支援について要望活動を実施したところです。</p> <p>また、水道施設耐震化等推進事業費補助金（交付金）に係る盛岡市の令和元年度要望に対する配分につきましては、要望通りとなっています。</p> <p>今後も、市町村の水道事業ができる限り計画的に進むよう、取り組んでいきます。（B）</p>	<p>盛岡広域振興局</p>	<p>保健福祉環境部</p>	<p>B：1</p>

盛岡市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>3 社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金に係る事業の推進について</p> <p>盛岡市では、「ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡」を将来像に掲げ、鉾屋町(なたやちょう)をはじめとする歴史的街並みを活用した地域の活性化や、時代の変化に合わせた新たな手法を盛り込んだ土地区画整理事業等による都市基盤の整備、「もりおか交通戦略」による都市活動を支える交通を中心とした交通環境の構築などの各種施策のほか、地域の活力ある社会経済の維持を目的に、東日本では初となる盛岡広域8市町による「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」を策定し、その推進に取り組んでいるところであります。</p> <p>このような状況の下、社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金は、地域の実情に応じて柔軟な活用が可能な創意工夫を生かせる一括交付金であり、本市においても、住民の安全で快適な生活環境の確保等、市民生活の向上等に大きく寄与しております。整備によるストック効果としては、ここ数年本市への観光客入込数が増加しており、今後においても安全・安心な都市基盤施設の構築はもとより、交通ネットワークの構築による経済活動における生産性の向上や観光等の交流人口増加による賑わいの創出に繋がるものと期待しております。</p> <p>つきましては、本交付金の特性を存分に発揮し、滞りなく事業を推進するため、事業費の確保について要望いたします。</p> <p><盛岡市の社会資本整備総合交付金による主な事業> 道路事業、街路事業、河川事業、住宅事業、都市公園事業、土地区画整理事業、下水道事業</p>	<p>地方の社会資本整備を推進するための予算の確保について、県では、令和元年6月及び11月に行った「令和2年度政府予算提言・要望」等により、継続的に国へ提言・要望を行っています。</p> <p>令和元年12月20日に閣議決定された令和2年度政府予算案では、公共事業関係費全体で概ね令和元年度と同額程度の予算が確保され、また、社会資本整備総合交付金等に加え、地方自治体事業の集中支援を可能とする個別補助制度が創設・拡充されました。</p> <p>今後も、地方の社会資本整備等を着実に推進するため、公共事業予算の安定的・持続的な確保を国に働きかけるなど、財源確保に努めていきます。</p>	<p>盛岡広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>B : 1</p>

盛岡市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>4 一般国道106号「宮古盛岡横断道路（復興支援道路）」の整備促進及び直轄指定区間編入について</p> <p>宮古盛岡横断道路（一般国道106号）は、太平洋沿岸の重要港湾宮古港を有する宮古市と県都盛岡市を結ぶ延長約66kmの路線であり、東日本大震災の際には、緊急輸送道路の「くしの歯作戦」の一路線として、迅速な救助活動、救援物資の搬送ルートとして利用され、現在「宮古盛岡横断道路（復興支援道路）」として、国の権限代行により整備にご尽力いただいているところです。</p> <p>本路線は、宮古・盛岡間の移動時間が短縮され、物流の効率化促進による地域産業の活性化や周遊観光圏域の拡大による経済効果のほか、沿岸部から内陸部の高次医療施設への救急搬送や医療活動の安定性・迅速性の確保など、「ストック効果」の発揮が大いに見込める路線であります。</p> <p>特に、令和元年度は都南川目道路が開通予定であり、一般国道4号及び46号へのアクセスが飛躍的に向上する見込みです。</p> <p>平成30年6月22日には、宮古－室蘭フェリーが運行開始し、港湾と道路の整備によって、今後一層の交流・物流の活発化が期待されているところであります。</p> <p>一方、本路線は、交通事故等による通行止めが多数発生し、近隣に迂回路もないことから、その安全性や信頼性に大きな課題を抱えております。また、平成28年8月の台風第10号の影響により、11日間の通行止めが発生するなど、災害に対する脆弱性の解消が急務となっています。</p> <p>また、北上高地特有の急峻な地形のため、トンネルや高架橋による整備により、高度な維持管理に関する技術が必要とされます。また、全区間延長の約40%を超える区間が新設区間であり、新設区間の現道における既存集落については、生活道路としての機能確保、バス路線維持等の自治体としての新たな役割が必要と見込まれており、国と地方自治体の役割分担による適切な管理が望まれます。</p> <p>つきましては、東日本大震災からの早期復興に向け、安全で信頼性の高い高規格道路として、災害時や冬期間の道路交通の確保を一段と確かなものとし、三陸沿岸地区と内陸との強力な連携に</p>	<p>三陸沿岸地域の早期復興のためには、高規格幹線道路や地域高規格道路による三陸沿岸の縦貫軸及び宮古盛岡横断道路等の内陸と沿岸を結ぶ横断軸で構成される道路ネットワークの構築が必要不可欠であると考えています。県ではこれらの道路を「復興道路」として位置づけ、国の「『復興・創生期間』における東日本大震災からの復興基本方針」に沿って着実に整備を進め、早期の全線完成することを国に要望しています。</p> <p>今後とも関係市町村と連携を図りながら、国に対し整備促進と全線高規格化を図ることを強く働きかけていきます。（A）</p> <p>また、一般国道106号を指定区間に編入し、東北地方の連携・交流の骨格となる格子状骨格道路として、国で一体的に管理することについて国に対し強く働きかけていきます。（B）</p>	盛岡広域振興局	土木部	A：1 B：1

盛岡市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>より北東北地域の産業・経済・文化の交流，豊かな地域資源を活かした観光誘客等の促進を図るとともに，国と地方自治体の役割分担による適切な維持管理が図られるよう，次のことを要望いたします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 一般国道106号「宮古盛岡横断道路(復興支援道路)」の整備促進と全線高規格化を図ること。</p> <p>2 一般国道106号「宮古盛岡横断道路(復興支援道路)」については，国が直轄で管理すること。</p>				
<p>5 一般国道46号「盛岡西バイパス」の2車線供用区間の4車線化の整備促進について</p> <p>一般国道46号「盛岡西バイパス」は，盛岡都市圏西側の環状道路機能を担うとともに，一般国道106号と連絡し，秋田市～盛岡市～宮古市を結ぶ横軸連携を形成する重要な路線となっております。</p> <p>「盛岡西バイパス」は，平成25年に主要地方道上米内湯沢線まで7.8kmが開通しておりますが，本宮字泉屋敷から上厨川字前潟の区間約3.6kmが2車線となっており，国のご尽力により4車線化の整備を行っていただいているところです。平成25年の開通以降，交通量は増加しており，現在，3万3千台を超えるなど確実に幹線道路としての機能が発揮されております。</p> <p>一方，盛岡西バイパス沿線では，盛南開発などの都市開発と盛岡西バイパス整備との相乗効果により，大規模商業施設の立地が相次ぎ，沿線の人口も大きく伸びているなど市街地の形成が急速に進んでいます。</p> <p>また，復興支援道路として整備が進められている宮古盛岡横断道路「都南川目道路」が，令和元年度に開通が予定されるとともに，新たなものづくりの拠点となる新産業等用地整備が進捗していることや，プロ野球1軍公式戦が開催可能な2万人規模の新野球場について，令和5年度供用開始に向け，岩手県と本市の共同で事業を進めていることなどから，今後も，交通需要が増加する状況にあります。</p> <p>つきましては，北東北の東西連携の強化をはじめ，物流の強化や渋滞緩和，都市機能の集積強化を図るため，一般国道46号「盛岡西バイパス」の2車線供用区間の4車線化の整備促進について，国に働きかけていただきたく強く要望いたします。</p>	<p>一般国道46号「盛岡西バイパス」については，平成25年12月に全線暫定供用開始したところですが，大規模商業施設等の相次ぐ立地等による更なる混雑緩和等を図るため，引き続き一般国道46号「盛岡西バイパス」の2車線区間の早期4車線化について国に對し要望していきます。(A)</p>	<p>盛岡広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>A : 1</p>

盛岡市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>6 一般国道4号「盛岡南道路」の事業化に向けた調査促進について</p> <p>一般国道4号は、岩手県の内陸部を南北に縦貫している大動脈であり、盛岡広域都市圏における円滑な交通の確保と都市の発展に大きな役割を担う重要な路線となっております。</p> <p>盛岡市は盛岡広域圏における生活・経済の中心であり、盛岡南地区においては、盛南開発により人口が増加し、「盛岡西バイパス」沿線等へ商業施設が集積しており、市街化が急速に進展しております。さらに、矢巾町や紫波町とは通勤通学などの流動が高く、盛岡市と一体の生活圏が形成されており交通需要が大きくなっている状況です。</p> <p>このため、国道4号においては、国道46号以南の交通量が増加し、著しい渋滞が発生している状況にあり、宮古盛岡横断道路の開通後には交通量がさらに増加することが想定されます。</p> <p>こうした中、当地区には、岩手流通センター、盛岡貨物ターミナル及び盛岡中央卸売市場等が立地し、物流拠点が形成されており、国道4号の渋滞が物流の大きな支障となっております。</p> <p>また、令和元年9月には、救急医療の中核を担う岩手医科大学附属病院が矢巾町で開院しますが、病院を中心とした道路ネットワークが十分に形成されていないことから、アクセス性の向上が重要な課題となっております。さらに、道明地区においては新産業等用地の開発が進捗していることや、盛岡南公園にはプロ野球1軍公式戦が開催可能な2万人規模の新野球場について、令和5年度供用開始に向け、岩手県と本市の共同で事業を進めていることなどから、今後においても交通需要の増加が見込まれるため、主要幹線道路の必要性が高まっている状況です。</p> <p>つきましては、盛岡市を中心とした都市圏の圏域人口の維持や持続可能な経済・産業圏域の形成、高次都市機能の集約強化、そして「命を守る医療体系」を機能させるとともに、これらを支える渋滞のない道路ネットワークを形成するため、一般国道4号「盛岡南道路」の「計画段階評価を進めるための調査」促進について、国に働きかけていただきたく強く要望いたします。</p>	<p>一般国道4号の盛岡南IC入口交差点以南については、慢性的に混雑しているとともに、令和元年9月には三次救急医療も担う岩手医科大学附属病院が移転し、更に交通量の増加が見込まれ、渋滞の発生が懸念されています。一般国道4号の混雑緩和と県内地域医療の中核を担う医療機関へのアクセス確保を図るため、引き続き一般国道4号「盛岡南道路」の事業化に向けた調査促進について国に対し要望していきます。(B)</p>	<p>盛岡広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>B : 1</p>

盛岡市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>7 道路局所管盛岡市道路整備事業の推進について</p> <p>盛岡市は県都として、また、北東北の交流拠点を目指し、行政、経済、教育・文化、医療等の高次の都市機能を備えたまちづくりを進めるとともに、これらの都市機能を支える基盤の整備に鋭意努めているところであります。</p> <p>しかしながら、歩行者の安全確保や道路事情の改善を図るためには、道路整備は未だ十分とはいえない状況にあり、広域連携等の推進を図るための幹線道路をはじめとして、学校、警察、道路管理者による通学路の緊急合同点検結果を踏まえた交通安全施設の整備が急務となっております。</p> <p>盛岡広域圏では、東日本で初となる連携中枢都市圏として、「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」を策定し、人口減少、少子高齢社会に向けた取組みを進めております。</p> <p>滝沢市、矢巾町との結びつきやネットワーク強化により両市町との一体的な発展を図るため、都市圏ビジョンに位置付けられた基幹道路の整備が求められております。</p> <p>また、市街地を3河川（北上川、中津川及び雫石川）が流れ、多くの橋を有しておりますが老朽化しており、平成25年度に制定された「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」を踏まえた、災害時にも対応した適切な長寿命化対策が課題となっております。</p> <p>つきましては、道路局所管盛岡市道路整備事業の着実な推進について要望いたします。</p> <p>1 道路局所管の盛岡市道路整備事業の着実な推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●津志田白沢線（連携中枢都市圏路線）永井地区 ●谷地頭線（連携中枢都市圏路線）厨川地区 ●岩手公園開運橋線 菜園地区 ●東中野門線 東中野地区 ●岩手飯岡駅東西自由通路 永井地区 	<p>道路は活力ある地域社会の形成、産業振興を図るうえで最も基礎となる社会資本の一つであり、地域間の交流・連携を促進するとともに地域住民の安全な生活を支える重要な役割を担っていることから、今後も通学路などの歩道整備を含めた道路整備の計画的かつ着実な推進が必要と考えています。</p> <p>御要望については、今後も貴市と連携しながら、着実な事業進捗が図れるよう事業費の確保等について国に働きかけていきます。(B)</p>	<p>盛岡広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>B : 1</p>

盛岡市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>8 一般国道4号渋民バイパスへの道の駅整備について</p> <p>一般国道4号渋民バイパスへの道の駅整備につきましては、平成7年に事業用地の一部を先行取得しておりましたが、平成27年4月の渋民バイパスの全線開通を受け、本市初の「道の駅」整備に向け、地域住民・関係団体の協力のもと、懇談会やワークショップの開催、利用者ニーズ調査などを実施するとともに、国土交通省東北地方整備局及び岩手河川国道事務所の御助言をいただきながら、導入機能・整備規模・整備手法等の検討を進め、平成31年3月に基本計画を策定したところであります。</p> <p>本市の目指す道の駅は、姫神山や岩手山の眺望をいかしながら、石川啄木記念館や旧尋常小学校など石川啄木ゆかりの施設との連携により、啄木が愛した原風景や過ごした時間を感じていただける施設としております。また、一日当たり11,000台を超える渋民バイパス利用車両への休憩や道路情報提供の場として、道路利用者等の交通安全の確保と利便性向上を図るとともに、災害時の一時避難の機能も期待されております。</p> <p>更に、地域情報の発信や付加価値のある農畜産物の販売、素材を生かした食の提供などにより、地域に活気を呼び込むほか、地域住民や子ども達の集いの場、子育て支援の場、地域を支える人材育成の場として地域振興の拠点施設となるものです。</p> <p>つきましては、令和元年度(2019年度)には基本設計作成や、特産品開発などに着手し、令和5年度(2023年度)の開業を目指し事業実施を図る予定としておりますので、地方創生を推進し、持続可能な地域づくりを進めるためにも、当該道の駅整備の着実な推進について、国に働きかけていただきたく、特段の御理解と御配慮をいただきますよう要望いたします。</p>	<p>「道の駅」は休憩機能、情報発信機能、地域の連携機能を併せ持つ施設で、道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供と地域振興に寄与することを目的に設けられるものです。</p> <p>県としては、平成31年3月に貴市において策定した基本計画を踏まえながら、道の駅整備の着実な推進について国に働きかけていきます。(B)</p>	<p>盛岡広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>B : 1</p>

盛岡市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>9 都市局所管盛岡市内街路事業の推進について</p> <p>盛岡市は県都として、また、北東北の交流拠点都市を目指し、現都心から盛岡南新都心地区に至る軸状都心の計画的な形成を図りながら、行政、経済、教育・文化、医療等の高次の都市機能を備えたまちづくりを進めるとともに、これらの都市機能を支える基盤の整備に鋭意努めているところであります。</p> <p>しかしながら、既成市街地は、城下町特有である道路の整備率の低さのため多車線道路が少なく、バス等の公共輸送機関が有効に機能しない状況となっております。さらに、新市街地の形成や隣接市町への市街地の拡大等により交通需要は増加傾向にあり、既成市街地の主要道路や中心市街地へ連絡する幹線道路等は、恒常的な交通混雑を引き起こし、円滑な都市活動や安全な交通の確保等が著しく阻害されており、街路の整備が急務となっております。</p> <p>本市においては、「もりおか交通戦略」を立案し、バスを中心とした公共交通軸の充実・強化や中心市街地へのアクセス交通の分散誘導を図るため交通政策と一体となった街路事業に取り組んでいるところであります。</p> <p>また、盛岡駅本宮線（杜の大橋）は、既存市街地や盛岡駅西口地区と新市街地である盛南地区を結ぶ重要な幹線道路であります。平成18年度に2車線での暫定共用を開始しておりますが、交通量が多く渋滞が発生しており、今後においても新市街地での住宅や商業施設等の立地が進み交通量の増加が見込まれることから、早期に杜の大橋を4車線化する必要があります。</p> <p>つきましては、都市局所管盛岡市内街路事業の着実な推進についてご配慮いただきたく要望いたします。</p> <p>●明治橋大沢川原線 大通三丁目外 ●愛宕町三ツ割線 山岸四丁目外 ●盛岡駅本宮線 杜の大橋</p>	<p>都心部における円滑な交通を確保し、良好な市街地形成を図るとともに、安全で安心な都市生活と機能的な都市活動を支えるためには、今後も街路整備の計画的かつ着実な推進が必要と考えています。</p> <p>ご要望については、今後も貴市と連携しながら、着実な事業進捗が図れるよう事業費の確保等について国に働きかけていきます。（A:2）</p> <p>盛岡駅本宮線杜の大橋については、必要な設計の見直しなどを行っていますが、引き続き、国の予算の動向や他の大規模事業の進捗等を見極めながら、必要な予算の確保に努めていきます。（B）</p>	<p>盛岡広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>A : 2 B : 1</p>

盛岡市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>10 盛岡市内の県道の整備促進について</p> <p>盛岡市は、現都心から盛岡南新都心地区に至る軸状都心の計画的な形成を図りながら、行政、経済、教育・文化、医療などの高次の都市機能を備えたまちづくりを進めるとともに、これらの都市機能を支える基盤施設の効率的な整備に鋭意努力しているところであります。</p> <p>しかしながら、新市街地の形成や周辺町村の市街地拡大に伴う本市への交通需要の増加等により、随所で恒常的な交通混雑が発生するなど、市民生活はもとより経済活動にも影響を及ぼしており、円滑な交通の確保を図るため、幹線道路の整備が急務となっております。</p> <p>特に、こうした幹線道路の整備は、中心市街地と周辺部を結ぶ安心・安全なネットワークを強化し高次の都市活動を支え、地域づくりや広域経済に大きな波及効果をもたらす、関係住民も大きく期待するところであります。</p> <p>また、郊外部において県道は盛岡市の主要な幹線道路として大型車の通行が多く、走行速度も速いことから、通学児童等通行者の安全を確保する歩道の整備や円滑で安全な通行を確保する急カーブ箇所等の道路改良が急務となっており、沿道住民から改善を待ち望まれています。なお、徳田橋や岩姫橋については老朽化が目立ち、陥没事故も発生していることから橋梁の架け替えによる老朽化対策も課題となっております。</p> <p>つきましては、次の県道の整備促進について要望いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●都市計画道路向中野安倍館線 前九年二丁目から上堂一丁目地区 ●都市計画道路盛岡駅本線 杜の大橋 ●一般県道大ヶ生徳田線 徳田橋 ●主要地方道上米内湯沢線 浅岸地区、下米内地区 ●一般県道渋民田頭線及び好摩停車場線 渋民地区、好摩地区、大台地区 歩道整備 ●一般県道渋民川又線及び主要地方道盛岡環状線 門前寺地区、白沢地区、鷹高地区、川又地区 	<p>(1) 前九年二丁目～上堂一丁目</p> <p>前九年二丁目～上堂一丁目の整備については、今後の交通量の推移や県全体の進捗状況等を踏まえ検討していきますが、早期の整備は難しい状況です。(C)</p> <p>(2) 杜の大橋</p> <p>杜の大橋については、必要な設計の見直しなどを行っていますが、引き続き、国の予算の動向や他の大規模事業の進捗等を見極めながら、必要な予算の確保に努めていきます。(B)</p> <p>(3) 一般県道大ヶ生徳田線 徳田橋</p> <p>現在の徳田橋は老朽化が著しく、橋梁部及びその前後の区間は幅員狭小で、大型車の円滑な交通に支障をきたしています。また、岩手医科大学附属病院等が矢巾町に移転したことに伴い、交通アクセスの利便向上を図る必要もあることから、平成23年度に橋梁架替事業に着手し、地盤調査や景観検討、道路及び橋梁の設計、用地測量、補償物件調査、用地補償等を進め、平成29年度から橋梁下部工工事に着手したところです。</p> <p>令和元年度までに橋脚工5基が全て完成し、引き続き橋台工1基の工事を進めており、今後とも整備推進に努めていきます。(A)</p> <p>(4) 主要地方道上米内湯沢線（浅岸地区、下米内地区）歩道整備</p> <p>歩道整備については、県内各地から多くの要望があり、必要性、緊急性等を考慮しながら整備を進めている状況です。</p> <p>御要望の箇所については、早期の事業化は難しい状況ですが、沿道状況等を踏まえて総合的に判断していきます。(C:2)</p> <p>(5) 一般県道渋民田頭線（渋民地区、大台地区）・好摩停車場線（好摩地区）歩道整備</p> <p>歩道整備については、県内各地から多くの要望があり、必要性、緊急性等を考慮しながら整備を進めている状況です。</p> <p>御要望の箇所のうち、好摩地区については、今年度は詳細設計を行っており、引き続き整備推進に努めていきます。(A:1)</p> <p>この他の箇所については、早期の事業化は難しい状況ですが、沿道状況等を踏まえて総合的に判断していきます。(C:2)</p>	盛岡広域振興局	土木部	A : 2 B : 1 C : 12

盛岡市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<ul style="list-style-type: none"> ●一般県道渋民川又線 日戸地区 ●主要地方道盛岡環状線 岩姫橋 	<p>(6) 一般県道渋民川又線(門前寺地区、白沢地区、鷹高地区、川又地区)・主要地方道盛岡環状線(川又地区)歩道整備 歩道整備については、県内各地から多くの要望があり、必要性、緊急性等を考慮しながら整備を進めている状況です。 御要望の箇所については、早期の事業化は難しい状況ですが、沿道状況等を踏まえて総合的に判断していきます。(C:5)</p> <p>(7) 日戸 日戸地区については、早期の事業化は難しい状況ですが、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら総合的に判断していきます。(C)</p> <p>(8) 岩姫橋 岩姫橋については、平成28年度から平成29年度に補修工事を実施しましたが、建設後50年経過した老朽橋で、幅員も狭く橋梁前後の区間においても曲線区間が連続することから、整備の必要な区間として認識しています。岩姫橋の架替を含む改良整備については、早期の事業化は難しい状況ですが、交通量の推移や公共事業予算の動向、北上川上流ダム再生事業の計画等を見極めながら総合的に判断していきます。(C)</p>			

盛岡市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>11 岩手県管理河川改修事業の促進について</p> <p>水害から市民の生命と財産を守り、安全な生活環境を確保するため、本市において岩手県で実施されております河川改修事業が着実に進展しておりますことは、岩手県御当局の御尽力によるものと深く感謝いたしております。</p> <p>しかしながら、盛岡市内を流れる岩手県管理河川のうち、一級河川北上川水系木賊川では、平成14年7月の台風により115戸の床上・床下浸水被害、平成19年9月の大雨では避難勧告の発令、また、一級河川北上川及び一級河川松川においては、平成25年9月に発生した台風により、86戸の床上・床下浸水をはじめ道路や農地への冠水、河川護岸の崩壊など甚大な被害が生じており、住民に大きな不安を与えており、被害にあった地域から、早期の抜本的河川改修が求められております。</p> <p>また、一級河川南川につきましては、市街地の水害防止のため、県と市が分担して整備を進め、国道4号から下流の県施行分について平成28年度をもって概成したところではありますが、北上川合流点付近が未改修となっており、平成19年9月や平成29年8月などの大雨により合流点付近に浸水、冠水の被害が発生し、地域から早期の河川改修が求められております。</p> <p>つきましては、岩手県により進められております、この4河川の改修事業により、災害による被害の軽減と市民の安全安心な生活が確保されますよう、事業の促進について要望いたします。</p>	<p>木賊川の河川改修については、「分水路＋遊水地＋河道改修」の3手法を基本として段階的な整備により事業を進めており、平成23年5月には分水路への通水を開始するなど治水安全度を高めたところ です。</p> <p>平成28年度から遊水地の工事に着手しており、本年度も引き続き遊水地の工事を進め、更なる治水安全度の向上に取り組みます。(A)</p> <p>北上川および松川については、被災した14箇所すべての復旧工事が完了しております。また、「盛岡北圏域河川整備計画」を平成27年度に策定し、河川改修事業に着手したところ です。</p> <p>北上川については、本年度、武道地区において圃場整備事業と並行して河川改修に取り組んでいます。(A)</p> <p>また、松川については、本年度から本格的に松川の下流部において工事を実施しており、浸水区域の早期解消に取り組んでいます。(A)</p> <p>南川について、県施行区間の整備は平成28年度に完了していますが、北上川合流点付近については国が施行する北上川背水対策による築堤計画区間であることから、国に対し一層の早期事業着手を働きかけていきます。(B)</p>	盛岡広域振興局	土木部	A : 3 B : 1
<p>12 都市基盤河川改修事業の推進について</p> <p>盛岡市内を貫流する一級河川北上川水系南川は、毎年、降雨期には洪水による浸水被害が懸念されており、沿川住民の不安を解消するため、早期の河川改修が強く要望されております。</p> <p>本河川は、盛岡南新都市土地区画整理事業の完工による市街化の進展に伴い、雨水の流入量が増加しており、市民の安全安心な生活を確保するため、整備が急務となっております。また、道明地区土地区画整理事業及び同地区に隣接して実施されている生活環境整備事業、産業等用地整備事業(道明地区)においては、早期の完成を目指し整備等が進められており、これらの事業と本河川の整備については、一体で取組むことが必要不可欠であります。</p> <p>つきましては、都市基盤河川改修事業の着実な推進について御配慮いただきたく要望いたします。</p>	<p>盛岡市が進めている都市基盤河川改修事業は、流域において、土地区画整理事業の概成等に伴い、人口や資産の集積が進む等、緊急性や重要性が高い事業であると認識しています。</p> <p>これらのことから、国に対し予算の拡充等を継続的に要望しながら、市の事業が着実に推進されるよう事業費の確保に努めていきます。(A)</p>	盛岡広域振興局	土木部	A : 1

盛岡市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>13 築川ダム建設事業の促進について</p> <p>築川ダム建設事業が着実に進展しておりますことは、岩手県御当局の御尽力によるものと深く感謝いたしております。</p> <p>一級河川築川流域の洪水氾濫危険区域には、約6,300人が生活しており、平成14年7月の台風6号の洪水では堤防の一部が崩落するなど、浸水被害が懸念され、住民に大きな不安を与えております。</p> <p>近年、全国的に集中豪雨や局所的な大雨が増大するなか、平成25年8月9日に発生した低気圧による大規模な出水では、御所ダム及び四十四田ダムにおいて洪水調節等の連携により河川の水位低減を図り、洪水被害の防止に大きな役割を果たしました。</p> <p>築川ダムには市民の安全安心な生活を確保するための洪水防御の役割のほか、水道用水の確保や河川環境の保全、水力発電による二酸化炭素の軽減など多くの役割を担っていることから、早期完成が期待されております。</p> <p>つきましては、築川ダム建設事業の促進について要望いたします。</p>	<p>築川ダム建設事業は、平成4年度に国庫補助事業として採択され、これまで貴市の協力を得ながら湛水区域の家屋の移転や土地収用裁決手続きを完了するなど、令和2年度のダム完成に向け着実に事業を推進しています。</p> <p>ダム本体工事については、昨年9月にダム本体のコンクリート打設を完了し、引き続き、本年10月の試験湛水開始に向け、工事を進めていきます。(A)</p>	盛岡広域振興局	土木部	A : 1
<p>14 急傾斜地崩壊対策事業の促進について</p> <p>がけ崩れを含めた土砂災害から地域住民の生命と財産を守り、安全な生活環境を確保するため、急傾斜地崩壊対策事業が着実に実施されておりますことは、岩手県御当局の御配慮によるものと深く感謝いたしております。</p> <p>しかしながら、西日本を中心とした平成30年7月豪雨や同年9月に発生した北海道胆振東部地震など全国各地で土砂災害が発生しており、本市においても大雨や地震による土砂災害の発生が懸念されており、住民に大きな不安を与えております。</p> <p>特に、「安倍館地区」では、要望箇所に加え、隣接する箇所においてがけ崩れが発生するなど、予断を許さない状況となっており、平成25年8月に発生した大雨・洪水により、繫地区の急傾斜地の一部斜面が崩落するなど、地域住民の安全確保が必要となっております。</p> <p>つきましては、急傾斜地崩壊対策事業の「安倍館地区」、「桜山(その3)地区」の新規事業化、及び「山岸一丁目地区」、「下米内二丁目地区」、「繫地区」の事業促進について要望いたします。</p>	<p>急傾斜地崩壊対策事業は、事業用地について土地所有者からの寄付が前提となることから、盛岡市と協力しながら進める必要があります。</p> <p>「安倍館地区」については、平成28年度に地質調査を実施し、対策に向けた基本的な工法検討を行ったところです。今後は土地所有者等に対する説明を行います。(B)</p> <p>「桜山(その3)地区」については、平成29年度に住民に対策工法の説明を行ったところです。今後とも早期の新規事業採択を目指して取り組んでいきます。(B)</p> <p>「山岸一丁目地区」については、平成28年度に新規事業採択となり、平成29年度には詳細設計を実施し、平成30年12月に住民説明を行い、本年度は急傾斜地の区域指定、用地・物件調査を進めることとしており、早期の工事着手を目指しています。(A)</p> <p>「下米内二丁目地区」については、平成20年度から補助事業により調査設計を行っておりますが、一部の方からご理解をいただけない状況にあることから、平成27年度に事業を休止しました。なお、住民には事業休止の説明を行っております。(C)</p> <p>「繫地区」については、平成28年度に工事着手し、本年度内の事業完了を目指して取り組んでいきます。(A)</p>	盛岡広域振興局	土木部	A : 2 B : 2 C : 1

盛岡市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>15 盛岡市土地区画整理事業の推進について</p> <p>盛岡市の土地区画整理事業は、地区の恵まれた環境を生かしながら、機能的で魅力あるコンパクトで持続可能なまちづくりのため、太田地区、道明地区及び都南中央第三地区で事業を実施しております。</p> <p>また、事業区域の縮小により、土地区画整理事業によらない手法で整備を図る区域においては、道路整備を中心として事業を実施しております。</p> <p>本市においては、立地適正化計画も作成中であり、事業を早期完了し、居住誘導区域として、住民の生活利便性の維持・向上、行政サービスの効率化等による行政コストの削減等、効果の早期発現を目指しているところです。</p> <p>しかしながら、完成までは未だに多額の事業費が見込まれること、地元から早期完成が要望されていること、土地区画整理事業と合わせたエリア全体の早期効果発現を行うべく、財源を確保して一層の事業推進を図る必要があります。</p> <p>つきましては、盛岡市土地区画整理事業の着実な推進と土地区画整理事業によらない区域の生活環境改善推進について、引き続き国に働きかけていただきたく要望いたします。</p> <p>●太田地区、道明地区、都南中央第三</p>	<p>土地区画整理事業は、市街地整備の代表的な手法として活用されており、今後とも推進を図るため、事業費の確保について、国に働きかけていきます。</p> <p>また、土地区画整理事業から外れた区域における道路整備事業についても、国に働きかけていきます。(B)</p>	<p>盛岡広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>B : 1</p>

盛岡市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>16 循環型社会形成推進交付金による浄化槽整備の推進について 盛岡市は、健全で良好な水環境の創出を目指して、公共用水域の水質保全及び衛生的な生活環境の確保を図るため、「公共下水道」「農業集落排水」「浄化槽」の3事業により汚水処理事業を推進しているところであります。</p> <p>平成26年1月の国土交通省、農林水産省及び環境省からの3省通知を踏まえ、平成27年度に公共下水道の計画区域を縮小し、浄化槽による整備区域を拡大することを柱とした「盛岡市汚水処理基本計画」を策定するとともに、平成37年度の汚水処理施設の概成を目指す「盛岡市汚水処理施設概成アクションプラン」を平成28年度に策定し、鋭意取り組んでいるところであります。</p> <p>浄化槽による整備区域については、行政区域面積約88,647ヘクタールの約9割を占めており、人口集積が低い地域でありますが、平成29年度末時点で当該整備区域内人口のうち約38%の整備率に留まっておりますことから、より一層の整備促進が必要となっております。</p> <p>つきましては、盛岡市浄化槽設置整備事業の一層の推進を図るため、浄化槽整備における循環型社会形成推進交付金の予算確保について国に働きかけていただくとともに、当該交付金と同額（年度間調整を含まない）の浄化槽設置整備事業費補助金の予算確保について要望いたします。</p>	<p>循環型社会形成推進交付金の予算確保については、これまで国に対し要望を行っており、今年度は貴市の要望額どおり配分されたところです。</p> <p>県の浄化槽設置事業費補助金の予算確保についても、今年度は貴市の要望額どおり配分したところです。</p> <p>今後も国に対して要望するとともに、県においても引き続き予算確保に努めていきます。（A）</p>	<p>盛岡広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>A：1</p>